

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 月・3	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 II (Comprehensive English II)			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	Fa	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 西原 俊明 /Eメールアドレス:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部6階 /TEL:819-2095 /オフィスアワー:火曜日 14:30-15:30 それ以外は、by only appointment				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。リスニング・リーディングの弱点を克服する訓練を行う。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 授業方法: 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いたリーディングの訓練を行う。 授業到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、パラグラフ・リーディング、リスニング・ストラテジー等、基礎的なコミュニケーションに必要な能力を身につけることを目標とする。				
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)と精読(1) 第 3 回 Voice Aerobics と速読(phrase reading)と精読(2) 第 4 回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)と精読(3) 第 5 回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)と精読(4) 第 6 階 弱く発音される音、速読(phrase reading)と精読(5) 第 7 回 聞こえなくなる音、速読(phrase reading)と精読(6) 第 8 回 なくなる音、速読(phrase reading)と精読(7) 第 9 回 ひとつになる音、速読(phrase reading)と精読(8) 第 11 回 つながる音、速読(phrase reading)と精読(9) 第 12 回 映画による聞き取り(1)、速読(phrase reading)と精読(10) 第 13 回 映画による聞き取り(1)、速読(phrase reading)と精読(11) 第 14 回 Review 第 15 回 まとめのテスト				
キーワード				
教科書・教材・参考書	速読教材は、時事問題を取り扱ったプリント教材を使用する。 精読用テキストとして、環境問題等を取り扱ったものを使用する。			
成績評価の方法・基準等	共通試験(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは、表現テスト、語彙テストを含む。 授業外での extensive reading を訓練する学生は、読んだことを証明するものを提出することにより、それを評価の一部に組み入れることができる。詳しくは、最初の授業で説明する。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標	このクラスは、習熟度別クラス(3クラスに分類)として授業がなされる。			
備考(準備学習等)	テキスト代に加えて、共通テスト代として 1,200 円程度必要となる予定。			